

# What's on, Kyodokodo

2010.4.9  
No.20



- 成功事例・参考事例を募集しています→<http://kyodokodo.jp/> トピックス内
- 質問・提案をお寄せください→[advice@ppscamp.net](mailto:advice@ppscamp.net)
- 標準化病院死亡比(HSMR)を算出してお知らせします  
→<http://kyodokodo.jp/hsmr.html> お問い合わせは [toHSMR@ppscamp.net](mailto:toHSMR@ppscamp.net)
- 参加登録病院用のバナーができました! → [パートナーズ専用ページ/トップページ](#)
- 参加登録方法に関するQ&A → <http://kyodokodo.jp/faq.html>  
参加登録事項変更等に関するQ&A → [パートナーズ専用ページ/Q&A](#)

## CONTENTS

### 共同行動からのお知らせ

- 医療安全全国共同行動 2周年記念フォーラムのご案内
- “共同行動ネットフォーラム” を開設します!
- 標準化病院死亡率(HSMR)のモニター病院にご登録ください
- 日本看護協会HPをご参照ください
- 「医療安全へのヒューマンファクターズアプローチ入門」受付終了しました

### フォーラム・セミナー等のご案内

#### ひとことアドバイス

- 危険手技の安全な実施 一経鼻栄養チューブ(目標3a)

#### 支援ツールをアップしました

- 目標4 「人工呼吸器関連肺炎の予防策」
- 目標6 「NDPリスク因子予知分析(PRA)の参考例」

#### Q&Aをアップしました

- 目標8 患者・市民の医療参加

#### フォーラム・セミナー等のご報告

- 東京シンポジウムが開催されました
- 支援セミナーin宮城が開催されました

## フォーラム・セミナー等のスケジュール

- 4月12日(月) ▶ 第68回近畿臨床血栓性疾患研究会 定期勉強会
- 4月24日(土) ▶ 鹿児島フォーラム
- 5月9日(日) ▶ 医療安全へのヒューマンファクターズアプローチ入門①
- 5月15日(土) ▶ 医療安全2周年記念フォーラム
- 5月22日(土) ▶ 宮城フォーラム
- 5月22日(土) ▶ 弾性ストッキング・コンダクター埼玉講習会
- 6月6日(日) ▶ 医療安全へのヒューマンファクターズアプローチ入門②
- 6月18日(金) ▶ 弾性ストッキング・コンダクター宮崎講習会
- 7月10日(土) ▶ 弾性ストッキング・コンダクター富山講習会
- 7月11日(日) ▶ 医療安全へのヒューマンファクターズアプローチ入門③
- 8月1日(日) ▶ 医療安全へのヒューマンファクターズアプローチ入門④
- 9月11日(土) ▶ 弾性ストッキング・コンダクター姫路講習会
- 9月26日(日) ▶ 医療安全へのヒューマンファクターズアプローチ入門⑤
- 10月16日(土) ▶ 弾性ストッキング・コンダクター旭川講習会
- 10月30日(土) ▶ 弾性ストッキング・コンダクター東京講習会

## 共同行動からのお知らせ

### 医療安全全国共同行動 2周年記念フォーラムのご案内

日時: 5月15日(土) 13:00~17:45 参加費: 2000円(資料代別)

会場: ベルサール九段 [http://www.bellesalle.co.jp/bs\\_kudan/event/](http://www.bellesalle.co.jp/bs_kudan/event/)

医療安全全国共同行動の目的と意義を再確認し、医療安全の新たな展開をめざします。患者さんと医療者がともに安心してケアに専念できる医療環境を実現するために、ぜひ多数の方々にご参加いただきますようご案内申し上げます。

[プログラム] (予定)

## シンポジウム

- 挨拶と講演 高久史麿 (医療安全全国共同行動推進会議議長)  
 辺見公雄 (日本病院団体協議会議長)  
 野本亀久雄 (医療機能評価機構医療事故防止センター長)  
 河野龍太郎 (自治医科大学医療安全学教授)
- 地域フォーラムの報告 (岩手、沖縄、東京、鹿児島)
- 共同行動のこれから
- インターネット中継 沖縄県立中部病院、北海道夕張医療センター ほか
- “私たちが共同行動を応援しています”  
 (応援ビデオメッセージ) 大竹しのぶ (女優)、アグネス・チャン (歌手) ほか

## ワークショップ (分科会)

目標1～8のすべてに関係する以下の3つの課題について討議します。

### A. 医療事故に学ぶ／中小規模病院の医療安全対策

- ・ 中小規模病院で8つの目標を実現するための課題と秘訣
- ・ ネットQ&A：質問や活動事例をお寄せください [shienjimu@kyodokodo.jp](mailto:shienjimu@kyodokodo.jp)

### B. 有害事象 (事故・合併症) が発生した時の緊急処置

#### —いのちをまもるための基本知識と基本手技

- ・ アナフィラキシーショックや空気塞栓が起きたら、あなたはまず何をしますか？
- ・ グループワーク：目標1～5 (有害事象関連) に取り組む病院はぜひ経験をお持ち寄りください

### C. 患者さんは医療安全のパートナー —患者さんにできる安全対策

- ・ 有害事象を減らし、目標 (1～8) を実現するために、患者さんができること、患者さんの協力があればもっと効果が期待できること、を考えます。

**お知らせ** 当日10～12時に、目標3a実技講習会 (経鼻栄養チューブの挿入留置手技) の開催を計画中です。近々にホームページからご案内いたしますのでご注意ください (席数が限られるため申込み先着順となりますこと、ご容赦ください。受講費2000円)。

(同日開催)

- 医療安全全国共同行動連絡会議 10:00～12:30
- 医療安全全国共同行動支援チーム会議 18:00～19:30

## “共同行動ネットフォーラム”を開設します！

参加登録病院の意見交換と経験交流のため、近々パートナー専用ページに“共同行動ネットフォーラム” (掲示板) を開設いたします。開設時にメールでご案内しますので、ぜひご活用ください。

## 標準化病院死亡率 (HSMR) のモニター病院にご登録ください

「標準化病院死亡率」 (HSMR) モニター病院への登録を受付けます。改善の取り組みの効果を「見える化」するのに有効です。厚労省に送付するDPCデータセットがあれば無料で算出してお知らせします。お申込みは <http://kyodokodo.jp/hsmr.html> から。

## 日本看護協会HPをご参照ください

日本看護協会公式ホームページに安全情報「看護職が関与した医療事故報道について」の記事がアップされましたので、ぜひご参照ください。

日本看護協会公式ホームページ／「医療安全情報」

<http://www.nurse.or.jp/nursing/practice/anzen/index.html>

## 「医療安全へのヒューマンファクターズアプローチ入門」受付終了しました

定員に達したため、募集を締め切りました。

## フォーラム・セミナー等のご案内

### 地域フォーラム

#### 医療安全全国共同行動 鹿児島フォーラム

日時: 4月24日(土) 13:00~17:30

会場: 鹿児島大学 鶴陵会館

\* 詳細は <http://kyodokodo.jp/doc/event/100424.pdf>

#### 医療安全全国共同行動 宮城フォーラム

日程: 5月22日(土)

会場: 仙台市医師会館 \* 詳細は追ってお知らせいたします。

### 8目標に関連するセミナー、シンポジウム、講習会

#### NEW! 近畿臨床血栓性疾患研究会 第68回定期勉強会(目標2に関連)

日時: 4月12日(月) 19:00~

会場: 近畿大学医学部 専門棟 第9講義室

\* 詳細は <http://kyodokodo.jp/doc/event/100412.pdf>

#### 医療安全へのヒューマンファクターズアプローチ入門

定員に達したため、募集を締め切りました

日程: 5/9日(日)、6/6日(日)、7/11日(日)、8/1日(日)、9/26日(日) 全5回

会場: 自治医科大学付属病院 地域医療情報研修センター

\* 詳細は [http://kyodokodo.jp/event\\_list.html](http://kyodokodo.jp/event_list.html)

#### 弾性ストッキング・コンダクター講習会(目標2に関連)

##### NEW! <埼玉地区>

日時: 5月22日(土) 13:00~16:30

会場: 大宮ソニックシティ・パレスホテル大宮

##### NEW! <宮崎地区>

日時: 6月18日(金) 13:30~16:30

会場: フェニックス・シーガイア・リゾート内、ワールドコンベンションセンターサミット

##### <富山地区>

日時: 7月10日(土) 13:00~16:00(予定)

会場: 上市町文化研修センター(予定)

**NEW!** 〈姫路地区〉

日時: 9月11日(土) 13:00~17:00

会場: 姫路商工会議所

## 〈旭川地区〉

日時: 10月16日(土) 午前中

会場: 旭川文化会館(予定)

## 〈東京地区〉

日時: 10月30日(土) 13:00~17:00

会場: 杏林大学 大学院講堂

主催: 日本静脈学会弾性ストッキング養成委員会

<http://www.js-phlebology.org/japanese/sscc/index.html>**CPR講習会 ~ICLS・ACLS・BLS・PALS講習会 (目標6に関連)**

4月までの講習会をご案内しています。

\* <http://kyodokodo.jp/doc/event/091225CPR.xls> をご覧ください。**ひとことアドバイス**

危険手技の安全な実施——経鼻栄養チューブ(目標3a)

**経鼻栄養チューブ挿入時の位置確認のポイント**行動目標3a代表 **山元 恵子**  
(春日部市立病院 副院長・看護部長)

4月の病院や診療所は、新人職員や転入職員の出入りが多いため、施設としての安全対策やマニュアルがなかなか理解されず、医療事故が発生しやすい時期です。

経鼻栄養チューブによる事故も、3月~5月の発生報告が多い現状で、注意喚起が必要です。経鼻栄養チューブの挿入は目で見えないところに感覚的に、常時閉じている「食道」の入り口にチューブを挿入する技術です。この矛盾した状態で安全に挿入するためには、**ひと**(患者)のアセスメント、**もの**(チューブ)の素材、形態の選択、技術(挿入手技)の熟練が大切です。

1. **ひと**(患者)のアセスメント: 経鼻栄養チューブを必要としている患者には二つのタイプがあります。第一のタイプには嚥下障害や意識障害等で経口摂取できないタイプ、いわゆる「ごっくん」できない患者層、第二のタイプには「ごっくん」はできるが、消化機能が充分ではないために経鼻栄養が必要な患者層です。

2. **もの**(チューブ)の素材、形態の選択: 患者のタイプによってチューブの選択がまったく異なります。「ごっくん」できない患者さんには、チューブの重みで挿入できるように先端の錘と、ガイドワイヤー付きが挿入しやすく、非透過性のチューブが必要です。

3. **技術**(挿入手技)の熟練: 以下のポイントを押さえましょう。

- 患者の体位は、ファーラー位とする。
- 経鼻栄養チューブの挿入長さを実測する。
- 頸部前屈位をとり、可能なら嚥下を促す。
- 20cm程挿入したら、口の中で迷走していないこと、咽頭で交差していないことを目で確認する。
- この時、視線は胸郭と腹部の動きや顔色を見て呼吸状態を確認する。

今回、経鼻栄養チューブ挿入技術をDVDとして作成しましたので、ご覧ください。

なお、初回の挿入確認は、レントゲン撮影が一番確実です。しかし、レントゲン撮影が困難な施設ではpH試験紙による確認等を行い、気泡音以外の、複数の確認方法で確実な位置確認を実施することを推奨します。

## 支援ツールをアップしました

### 目標4 医療関連感染症の防止の支援ツールに「人工呼吸器関連肺炎の予防策」をアップしました

日本集中治療医学会のICU機能評価委員会が中心となって、人工呼吸器関連肺炎の予防策についてバンドルの提案が作成されましたので、ご紹介いたします。

\*

人工呼吸器関連肺炎 (ventilator-associated pneumonia:VAP) は、院内感染症の中でも重篤な経過をとるものの一つです。人工呼吸期間を延長させるばかりではなく、予後へも悪影響を及ぼします。病院の医療レベルを知る指標としても利用されています。VAP発症を予防することは患者さんにとっても、病院にとっても重要な意味を持ちます。特別な機器を必要とするものではありません。日々の基本的な注意でVAPを減らすことが可能です。VAP発症ゼロを実現させるよう、努力しましょう。

\* 日本集中治療医学会ホームページ <http://www.jsicm.org/>

### 目標6 急変時の迅速対応の支援ツールに「NDPリスク因子予知分析(PRA)の参考例」をアップしました

内容：危険手技に伴う合併症のリスク・コントロール、発生時の早期発見と緊急対処のための基礎知識と適切な備えの指針 ■鎖骨下静脈穿刺、動脈穿刺、静脈穿刺、持続点滴、骨髄穿刺、胸腔穿刺 ©NDP (医療のTQM実証プロジェクト)

\* 支援ツールの閲覧は

[公開ページ/トップページ/メニュー](#) → [「8つの行動目標と推奨する対策」](#) → [「支援ツール一覧/各行動目標/TOOL BOX」](#) → 登録してお入りください。

## Q&Aをアップしました

### 目標8 患者・市民の医療参加に関する質問と回答をアップしました

Q.患者さんの誤認防止のために「患者さんに名前を言ってもらおう」取り組みをしています。リストバンドを導入して照合させてもらっていますが、なおかつ「患者さんに名前を言ってもらおう」ことには職員に抵抗感があるようです。「臨機応変に」ということにすると、いつまでも名乗ってもらえないのが現実だと実感しています。何かアドバイスをいただけますか？

\* 回答はHPからご覧ください

[公開ページ/トップページ/メニュー](#) → [「相談室」](#) → [「目標別Q&A/目標8」](#)

\* 行動目標に関して皆さまから寄せられる質問のうち、よくいただく質問と支援チームからの回答を公開ページに掲載しています。

\* 内容によってはパートナーズ専用ページ(非公開、参加登録病院が対象)のみに掲載いたします。

## フォーラム・セミナー等の報告

「東京シンポジウム～有害事象から患者さんを守ろう」が開催されました

## 経験・知識を共有して現場で活かそう

医療安全全国共同行動・東京シンポジウム 実行委員会事務局 清水 利夫  
 (独立行政法人国立国際医療研究センター 戸山病院 副院長)

2010年3月22日(月)、国立国際医療研究センター戸山病院協力局5階大会議室にて「医療安全全国共同行動 東京シンポジウム～有害事象から患者さんを守ろう」を開催し、3連休の最終日にも関わらず300人近い方にお集まりいただきました。午前には河野先生の「実行可能なエラー対策」と各職能団体の取り組み報告、午後はテーマ別のご発表を9題いただきました。また患者市民の医療参加のポスター発表もいただきました。準備から最終プログラムの確定、そして当日まで十分な時間がありませんでしたので、講師の皆様、ご参加の方々にはいろいろご無理とご不便をおかけしました。主催者側としては9時の受付開始までは何人の方にご参加いただけるか不安でしたが、10時には会場がほぼ満席となり安堵した次第です。

医療安全全国共同行動では全国フォーラム以外にも各地でセミナー、シンポジウムなどが開催されております。今回の東京シンポジウムも東京地区を対象とした共同行動の一つとして企画・実行いたしました。推進会議構成団体の東京都「支部」として東京都医師会、東京都看護協会、東京都臨床検査技師会、東京都放射線技師会、東京都臨床工学技士会などのご協賛をいただけたのは医療安全には職種を超えた協力が必要であると、それぞれの団体が考えておられる証だと思います。

基調講演「実行可能なエラー対策」では「もっと話を聞きたかった」「エラー対策として聞いた話をすぐに役立てるつもりです」という感想をたくさんいただきました。

今回のシンポジウムは普段から忙しくて全国フォーラムにはあまりご参加いただけていないだろうと思われる病院を対象にプランニングしましたので分科会方式はとらず、一つの会場ですべての講演とディスカッションを聴いていただくことにしました。私共の狙いは当たったようで「普段あまり聞いたことがなかった他職種の話を聞いたことが有意義だった」「すでに共同行動に加わっているが、積極的に関わっていない行動目標についての話を通して聞いたのがよかった」などの声をいただきました。もちろん、反対に時間がハードすぎたというご批判もいただきましたので、次の機会に活かしていきたいと思っております。救命救急科を持たない病院でのRRT (Rapid Response Team) の立ち上げ経験のお話と3次救急を行っている病院でのRRSのお話はこれもたくさんの共感を呼びました。

そして参加者は自分たちの病院でも頑張ろうという元気を貰いました。それぞれの病院で職種を超えた医療安全の連携が進むことと思っております。今回の東京シンポジウムを契機に都内からこの全国共同行動に参加登録する病院がもっと増えればよいと思っております。参加された皆さん、それぞれの病院の職場の人たち、病院長を巻き込んで医療安全の輪を広げていこうではありませんか。

すでに周りに仲間がたくさんいることも判りました。一人で一から始めるよりはお互いの経験・知識を共有して始めるほうがずっと楽です。東京シンポジウムで学んだことを明日からでも現場で活かしましょう。医療安全はみんなの願いです。



## 支援セミナーin宮城が開催されました

# 新人を指導できる知識と技能習得をめざして

東北大学病院医療安全推進室 藤盛 啓成

2010年3月27日(土)午後1時より仙台国際センター白樺(しらかし)で「医療安全全国共同行動支援セミナーin宮城」を東北大学病院医療安全推進室とテルモ社の共催で開催しました。テーマは輸液ポンプ・シリンジポンプの適切な使用法で、4月から病院に入職する新人を指導できる知識と技能を現場スタッフが身につけることを目標としました。

まず、藤盛より全国共同行動の概要について15分程度説明し、その後特別講演として武蔵野赤十字病院専従リスクマネジャーの杉山良子先生より「医療機器安全管理の構築に向けて」と題して、看護師の目からみた医療安全管理全般の課題と医療機器安全管理の問題について話していただきました。座長は前東北大学病院GRMの横塚紀美子さんをお願いしました。杉山先生は豊富な経験から大変わかりやすく、力強いメッセージを込めて話していただきました。その後、テルモ社より、輸液ポンプ・シリンジポンプのピットフォールと適正な使用方法について解説がありました。最後に実際の輸液ポンプ・シリンジポンプを用いて、フリーフロー、ボーラス現象、サイフォンニングを実体験してもらい、対処法についてグループワークを行いました。

参加者は総勢68名で輸液ポンプ・シリンジポンプ使用に特化したセミナーとしては盛会でした。セミナー後のアンケートではやや満足以上の評価が93%、役立つ内容であったとの評価が98%でした。各病院が抱える問題として、機器の機種混在、新機種の取り扱い教育の課題が多く寄せられました。大変有意義なセミナーとなりました。

### 共同行動キャンペーンポスターをご利用ください (HPからダウンロードできます)

- 医療安全全国共同行動“いのちをまもるパートナーズ”(日本版100K)
- 行動目標別キャンペーンポスター完成見本(目標1～目標8)
  - 公開ページ…[トップページ](#)
  - パートナーズ専用ページ…[トップページ](#)
- 行動目標別キャンペーンポスター基本デザイン(目標1～目標8)
  - パートナーズ専用ページ…[トップページ](#)

★ウェブマガジンWhat's on, Kyodokodoは毎月第2・第4金曜日に配信します  
院内にて掲示・回覧・配布等、ご活用ください

医療安全全国共同行動 “いのちをまもるパートナーズ”  
ウェブマガジン What's on, Kyodokodo 編集室

〒102-0082 東京都千代田区一番町13-8 一番町KKビル3階 社団法人日本病院会内  
TEL. 03-6380-9370 FAX. 03-6380-9371  
E-mail: secretariat@kyodokodo.jp URL: <http://kyodokodo.jp/>